科目ナンバリング	U-LAS01 20022 LJ38						
授業科目名<英訳>	現代史概論 Introduction to Modern History			担当者所属職名・氏名	人文科学研究所 教授　藤原　辰史		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	歴史・文明(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	火2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

「現代」と言われる時代、とくに20世紀の歴史を学ぶ。ボーア戦争、スペイン内戦、日中戦争、第一次世界大戦、第二次世界大戦、朝鮮戦争、ベトナム戦争、アメリカ同時多発テロと武力攻撃にの世紀であるとともに、国際連盟や国際連合を中心として世界平和を探求しようとした世紀でもあった。科学技術が軍事技術と生活革命を同時にもたらし、よりよく殺すためにも、よりよく生きるためにも用いられた世紀でもあり、経済的に、人種主義的に、ジェンダー規範によって虐げられた人々が異議を申し立て、人々の心をとらえたり、敗れたりした正規でもある。本講義では、現代史の知識を身につけることを主眼に置いていない。それよりも、どのように、私たちの生に直接つながっていくこの複雑な時代をとらえるのか、その「視角」を、受講生固有のまなざしから獲得していく試みである。

[到達目標]

現代史を理解する上で最低限の知識を身につけること。
現代史を理解する上で重要な複数の「見方」を学ぶこと。
他の学生の考えをきちんと聞いて理解し、自分の考えと比較検討すること。

[授業計画と内容]

これまで、学生の関心に応じて変更をしてきました。
1 イントロダクション：現代史の本を書くとしたら
2 現代史の概観
3 世紀転換期
4 第一次世界大戦:飢え
5 第一次世界大戦:民衆
6 戦間期
7 ナチスとヒトラーについて
8 ナチスの収穫感謝祭
9 台所から見たナチス
10 トラクターの世界史
11 科学技術と現代
12 沖縄の２０世紀
13 歴史を学ぶこと
14 まとめ
15 フィードバック
受講生の関心に応じて、変更の可能性あり。

[履修要件]

特になし

現代史概論(2)へ続く↓↓↓

現代史概論(2)

[成績評価の方法・観点]

定期試験（ノート持ち込み可）。欠席が少なかった者が高く点数がとれるような問題に設定予定。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
エリック・ホブズボーム『２０世紀の歴史――両極端の時代　上・下』（ちくま学芸文庫、2018）
木畑洋一『２０世紀の歴史』（岩波新書、2014）
藤原辰史『トラクターの世界史』（中公新書、2017）
藤原辰史『歴史の屑拾い』（講談社、2022）
藤原辰史『食権力の現代史』（人文書院、2025）

[授業外学修（予習・復習）等]

なんでも良いので、事前に現代史に関する本を読んでおくことが望ましい。
本を借りたりあるいは購入したりして読む労力を惜しまないこと。
講義中には多数の本を紹介するので、復習として読むとよい。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]